



TOSTEM リビング建材 ウッディーライン ランマ付ドア 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

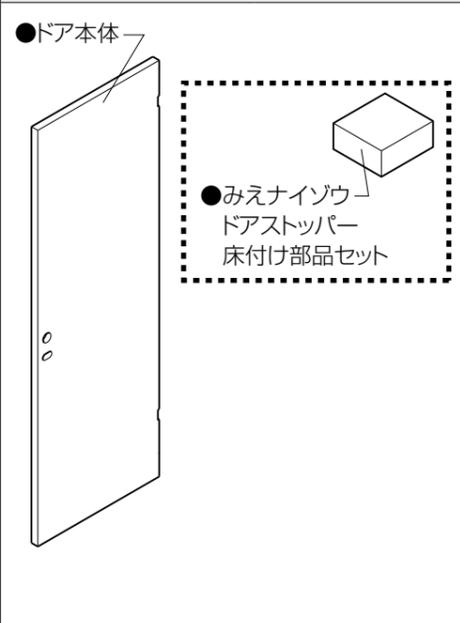
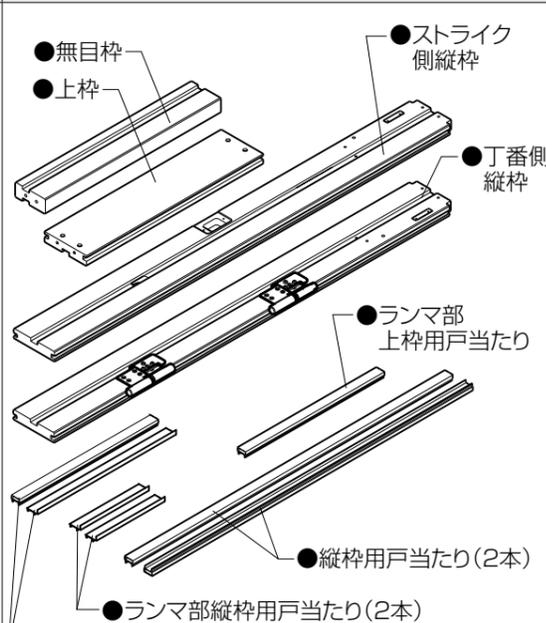
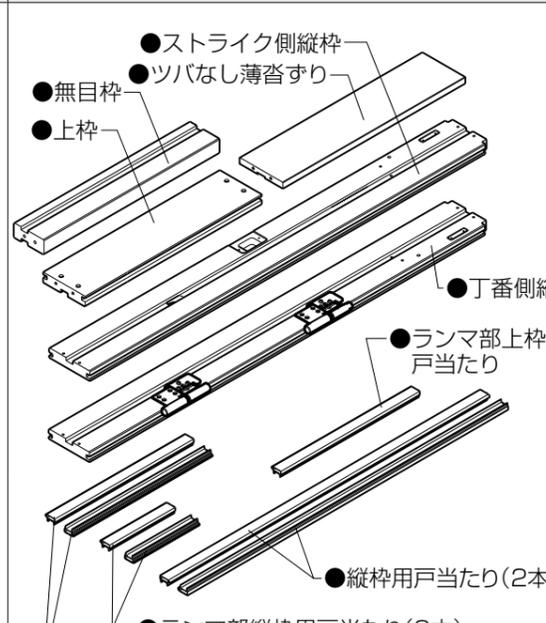
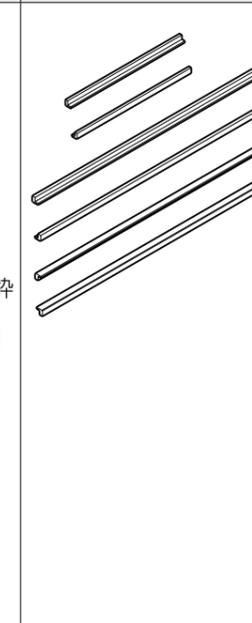
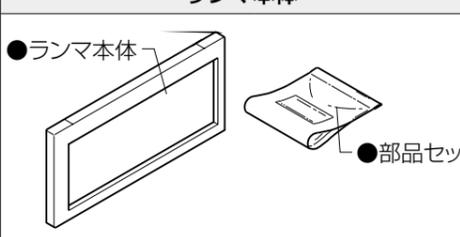
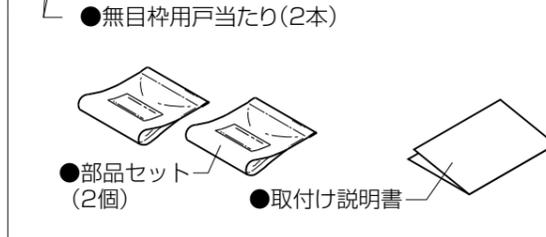
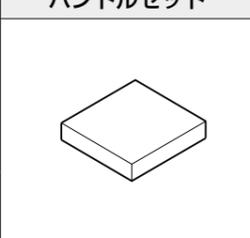
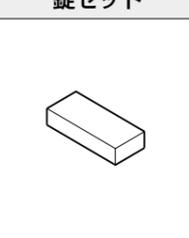
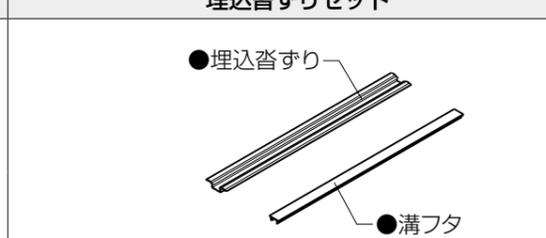
▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。本体脱落の原因につながります。
- ランマ本体設置後は回転軸固定金具を確実にねじ止めし、本体が外れないことを確認してください。ランマ本体脱落の原因につながります。
- 建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。
- ドアストッパー床付け部品のフラップが立ち上がったままになっている場合は、必ず手で倒してください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 扉を開放しておくときは、必ずドアストッパーのロックレバーを下げて扉を固定してください。扉が強風で強く閉まり思わぬケガをするおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
 - 建具枠を取付けるときは、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。
かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
 - 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
 - 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 - 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
 - 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。
他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
 - 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。但し、叩き込まないようにして下さい。保持力低下の原因となります。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
 - 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
 - 建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - 建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 - 枠は倒れ、傾き、たいこ、つぶみ、ねじれがないように取付けてください。
 - 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
 - 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
 - 取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、
粘着力の強いテープ(ガムテープ、養生テープなど)を長い時間建具表面に直貼りしないでください。
テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
 - 運搬・加工の際は、キズ付かないように取扱ってください。
 - 上枠をクロス巻き仕上げを行う場合は必ず裏面に木工用接着剤を塗布してください。クロスにシワが発生する場合があります。
- ## ■本体保管上のおお願い
- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

ドア本体		3方枠		4方枠		ケーシングセット (ケーシングタイプのみ)	
							
ランマ本体							
ハンドルセット	錠セット	ツバ付薄沓すりセット		埋込沓すりセット			
							

■枠セット明細

ランマ付 ドア	縦 枠	上 枠	無目枠	(※1)ツバなし薄沓すり		
	2	1	1	1		
	部品セット		取付け説明書		下部用戸当たり	上部用戸当たり
	1		1		縦 2・上 1	縦 2・上 1・下 1

※ 1)4方枠の場合、3方枠には含まれません。

■取付け範囲(単位:mm)

	ケーシングタイプ		ノンケーシングタイプ		
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180
対象壁厚	111~141	142~182	116~130	131~145	146~160

■ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■本体丁番ねじセット明細 (枠に同梱、丁番にテープ止め)

本体取付けねじ (皿タッピンねじφ4×20)	8本
---------------------------	----

■ハンドルセット明細

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
ハンドル固定ねじ	1本

■錠セット明細

錠座セット	1組
-------	----

■ランマ本体セット明細

ランマ本体	1
部品セット	1

■ウディーライン本体用見えナイソウ ストッパー床付け部品セット明細

床付け部品	1個
床付けカバー	1個
床付け治具	1個
床付け部品取付けねじ (皿タッピンねじφ3×12)	2本

■部品セット(枠セット用)

	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじ M4×50	8本	12本
上枠・縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ)φ3.8×50	9本	9本
高ワッシャ	4本	4本

■部品セット明細(ツバ付薄沓すり用)

組立て用トラスタッピン ねじφ4×25	4本
------------------------	----

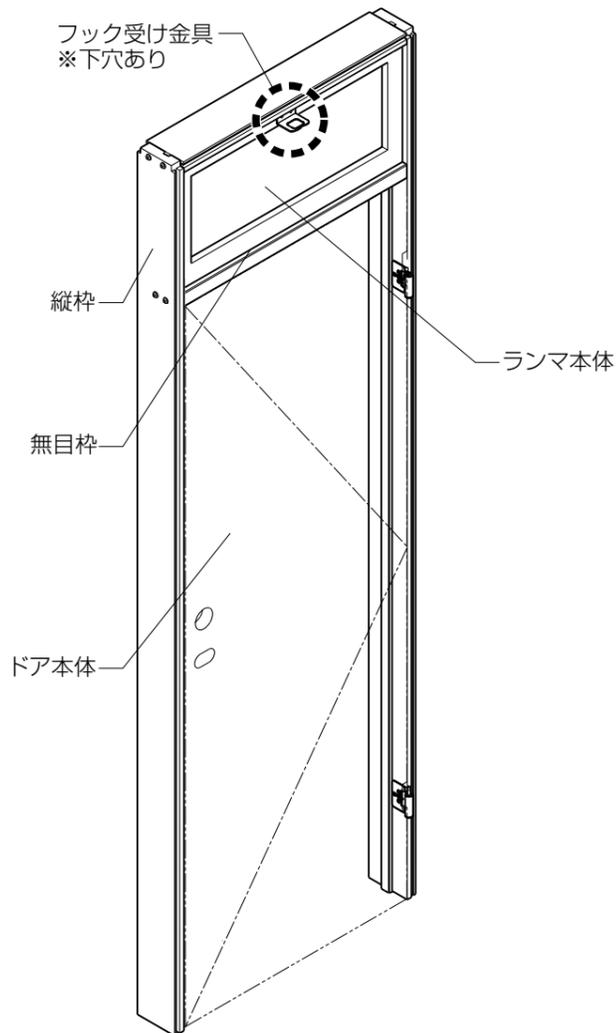
■部品セット明細(埋込沓すり用)

取付け用ナベタッピンねじ φ4×40	4本
-----------------------	----

■部品セット明細(ランマ本体セット用)

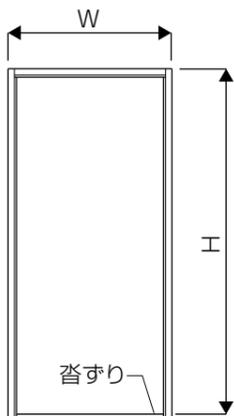
軸固定金具	2個
軸固定金具ねじ トラス小ねじM4×16	2本
フック受け金具	1個
フック受け金具固定ねじ 特平木ねじφ3.8×20	2本

■構成図



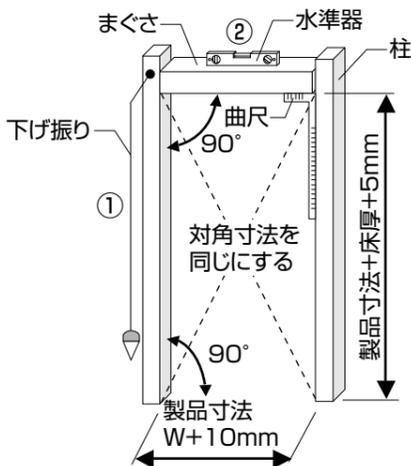
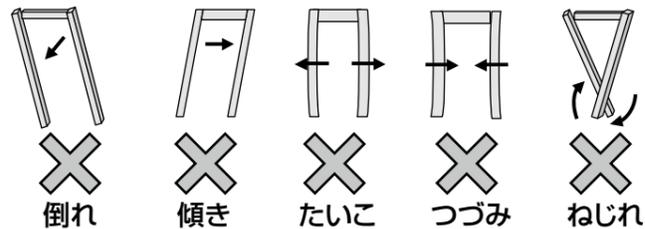
■開口部の作り方

●製品寸法



- ① 下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ② 水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



■壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ

(単位:mm)

	ケーシング(足寸法)	対応壁厚
薄壁用	8	111~121
	14	122~133
	19	134~141
厚壁用	8	142~148
	14	149~160
	19	161~170

■取付け順序

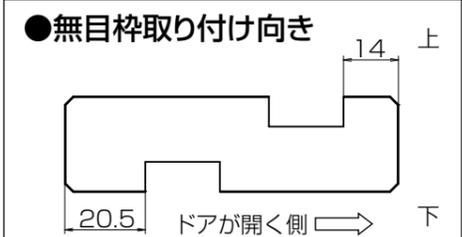
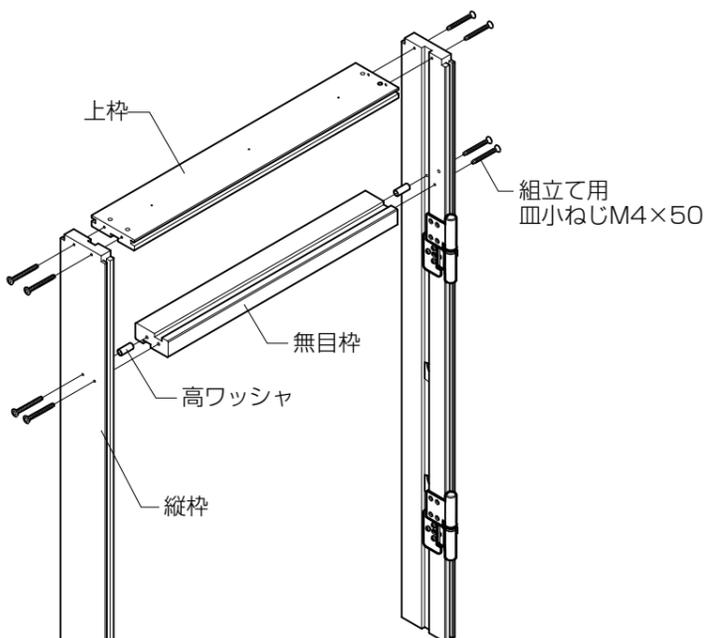
1 枠の組立て

【3方枠の場合】

●下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

■天井納まりの場合

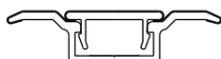
天井施工済みの場合は、3方枠組立ては行いません。



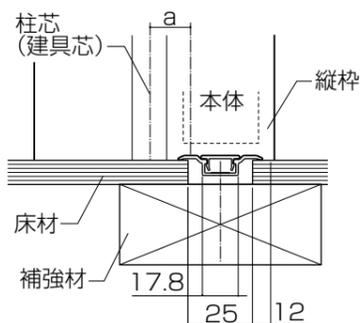
●お願い
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

【3方枠に埋込沓すりを使用する場合】

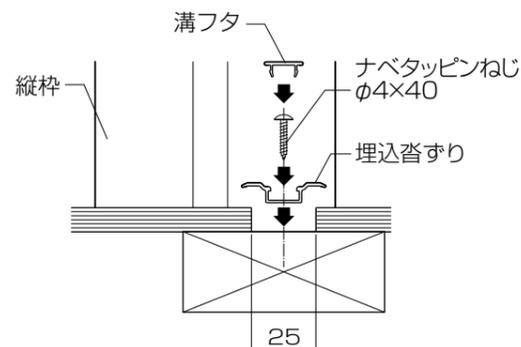
●埋込沓すり



- ① 補強材を必ず入れ、下図の位置に25mmあけて床材を張ります。
※躯体に縦枠を仮止めして位置出しをしてください。



- ② 埋込沓すりを、戸当りに接する位置にねじ止めし、溝フタをはめ込みます。



枠機種	NC156	NC171	NC180	C付115(薄壁)	C付142(厚壁)
a寸法	41	48.5	53	20.5	34

●お願い
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。

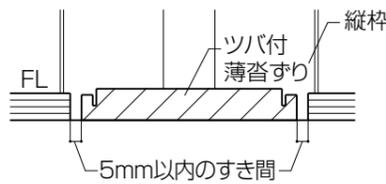
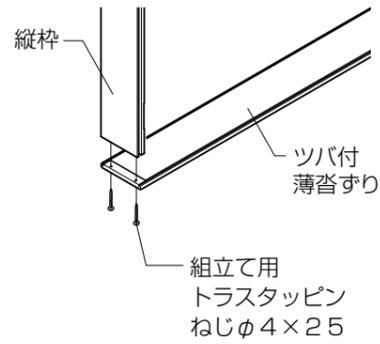
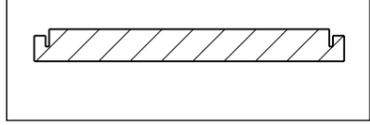
【3方枠にツバ付薄沓すりを使用する場合】

※縦枠と上枠と無目枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。

①下図のように各部材を合わせ、同梱のねじで固定します。

②枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。

●ツバ付薄沓すり



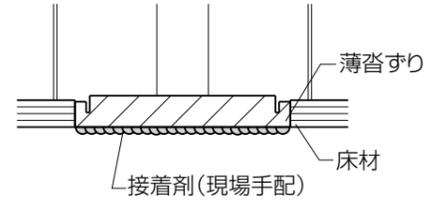
お願い
※床材とツバ付薄沓すりのすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

■躯体への取付け方

※ツバなし／ツバ付 薄沓すり共通

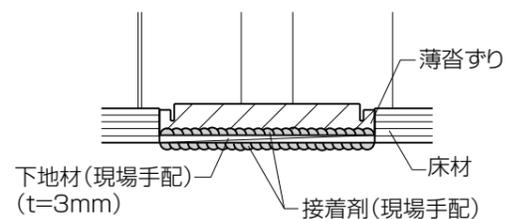
●床材厚さ12mm

※必ず薄沓すりに接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



●床材厚さ15mm

※必ず薄沓すりと下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



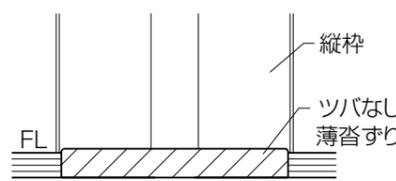
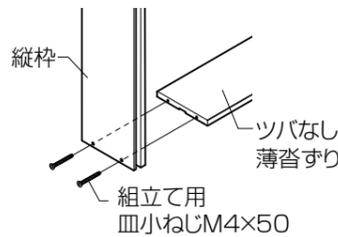
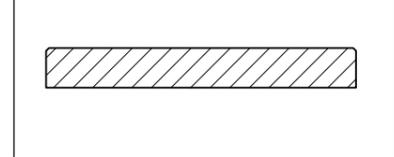
【4方枠の場合(床後張り(枠先付け)の場合)】

※縦枠と上枠と無目枠の組立ては、3方枠の場合の記載を確認してください。

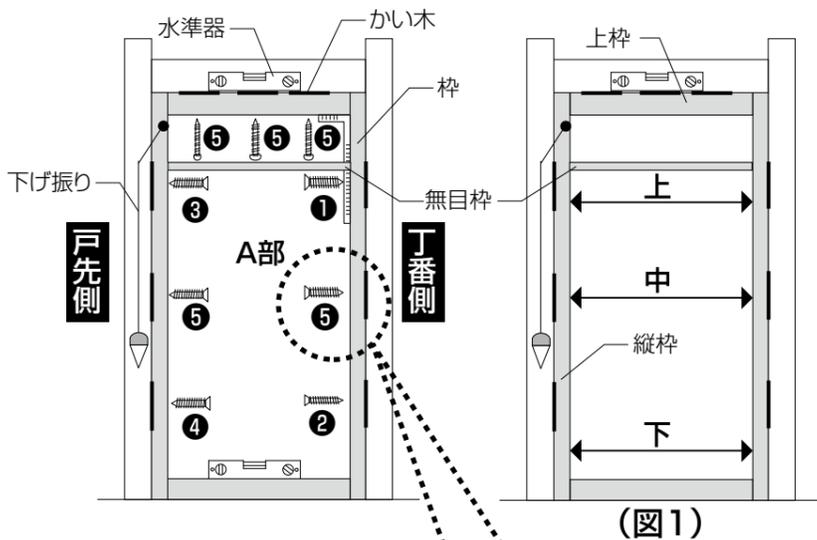
①下図のように各部材を合わせ、同梱のねじで固定します。

②枠の取付け後、下図のように縦枠・ツバなし薄沓すりにそって床材を張ってください。

●ツバなし薄沓すり



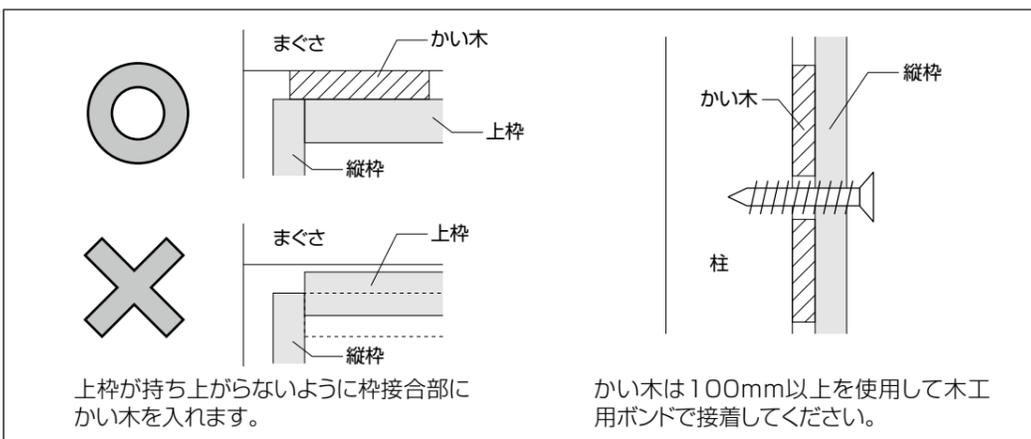
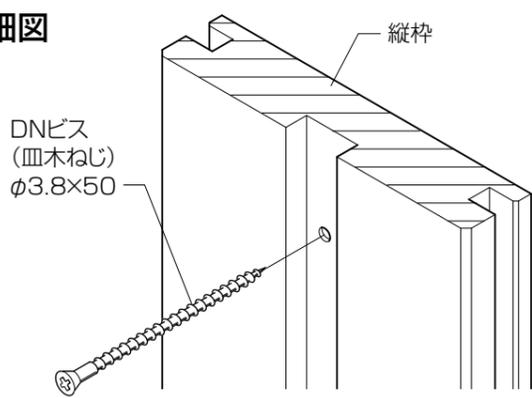
2 枠の取付け



- ①枠の取付けは同梱のねじ(DNビスφ3.8×50)で取付けてください。
 - ②枠を開口部にはめこんで、下枠・上枠の水平を確認してから、縦枠(丁番側)の①を仮固定してください。
 - ③下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠(丁番側)の②を仮固定してください。
 - ④水準器で下枠・上枠の水平を確認してから縦枠(戸先側)の③を仮固定してください。
 - ⑤下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠(戸先側)の④を仮固定してください。
 - ⑥枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整し、開口寸法(W寸法)が上・中・下の箇所揃っていることを確認後、仮固定したねじおよび残りの⑤ねじで本固定してください。(図1)
- ※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。
- ⑦再度、枠の垂直を確認してください。
 - ⑧上枠はかい木を入れてDNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。
- ※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用ねじ(DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50)で固定してください。

お願い
※枠の倒れ、傾き、たいこ、つぶみ、ねじれがないように取付けてください。

■A部詳細図



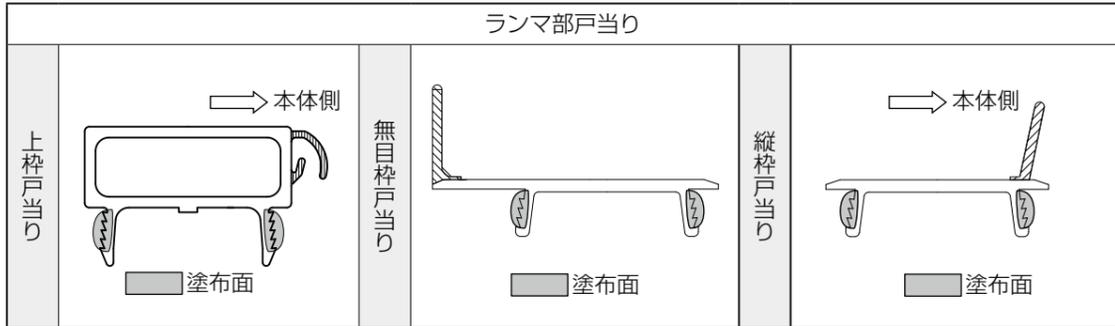
上枠が持ち上がらないように枠接合部にかい木を入れます。

かい木は100mm以上を使用して木工用ボンドで接着してください。

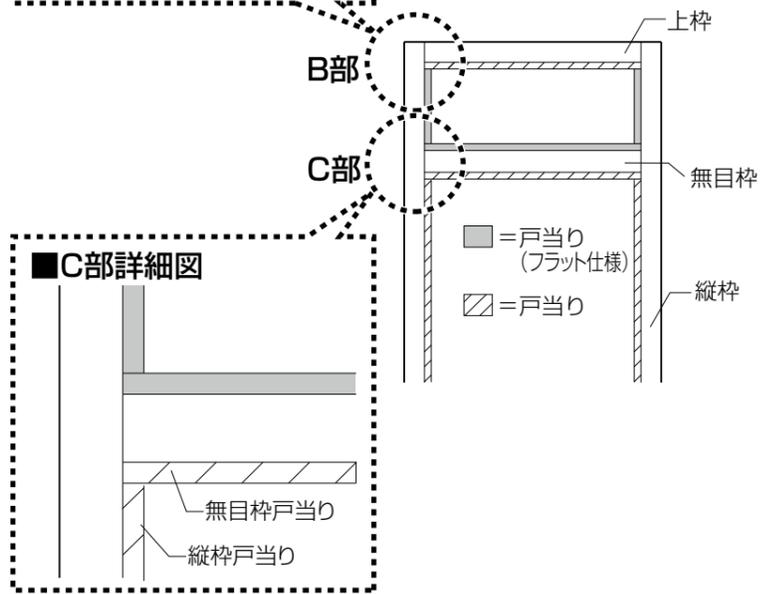
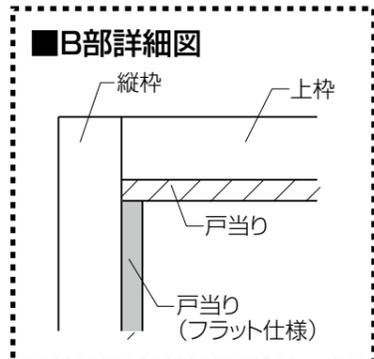
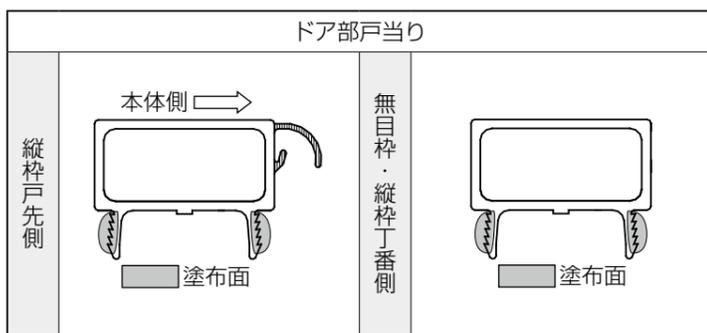
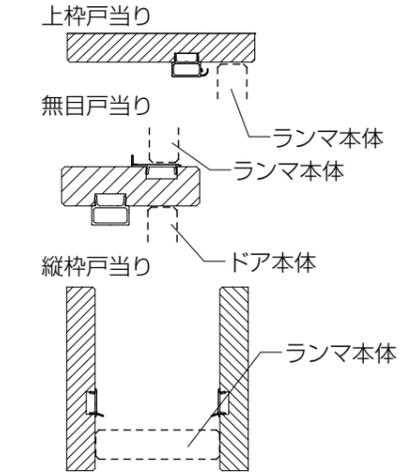
3 戸当りの取付け

- ①現場で戸当りの寸法を合わせて切断してください。(ランマ部戸当りはカット不要)
 - ②戸当りの足の外側(リップのある面)に 200mm ピッチで接着剤(現場手配)をつけ、固定してください。
(塗布面は下図参照)接着剤(現場手配)がはみ出た場合は必ずふきとってください。
- ※戸当りは、埋込沓すりより先に取付けてください。
※埋込沓すりの場合、ドアランマ部上枠、無目枠用→縦枠用の順に取付けてください。

●お願い
※ハンマーなどで直接たたき込まないでください。

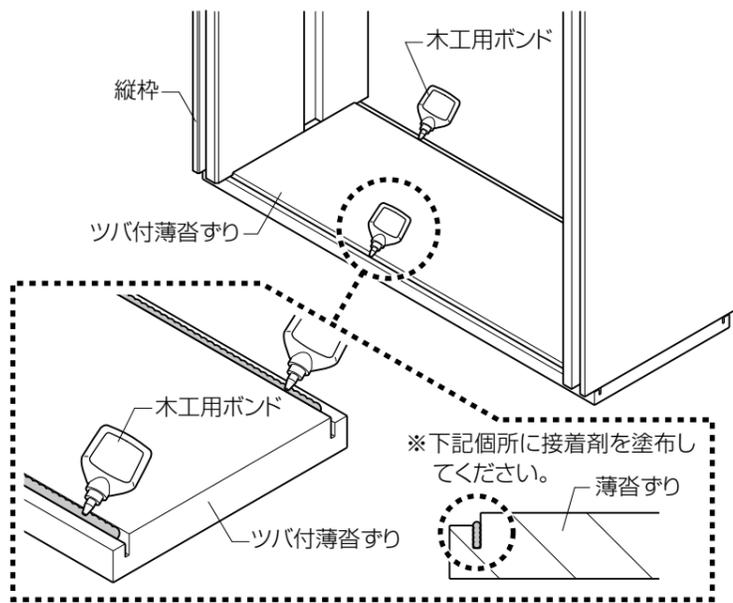


●ランマ部戸当り取付け向き



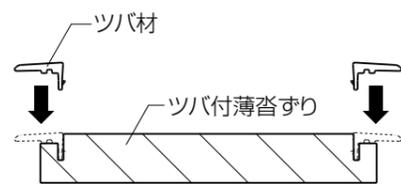
4 ツバ材の取付け (ツバ付薄沓すりを使用する場合のみ)

- ①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②ツバ付薄沓すりの溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長にすき間なく塗布してください。



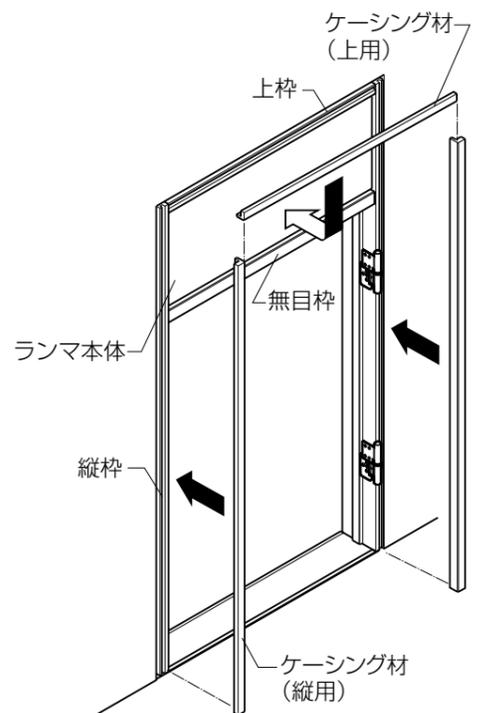
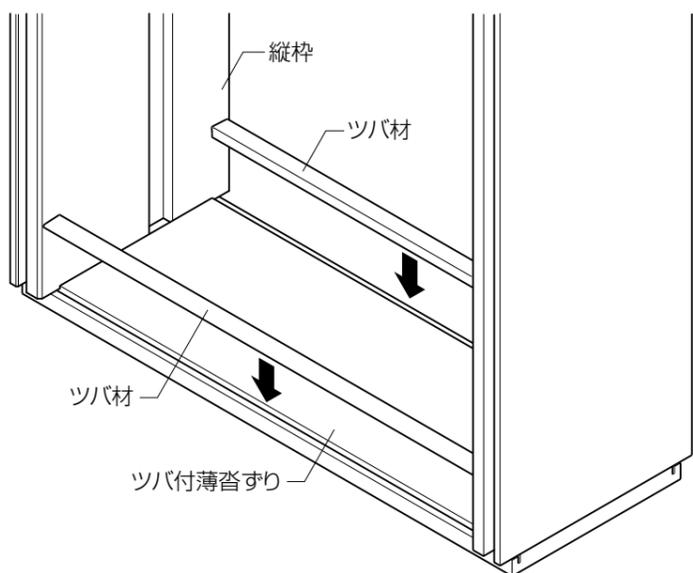
- ③ツバ材を溝に手ではめこんでください。

●お願い
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



5 ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

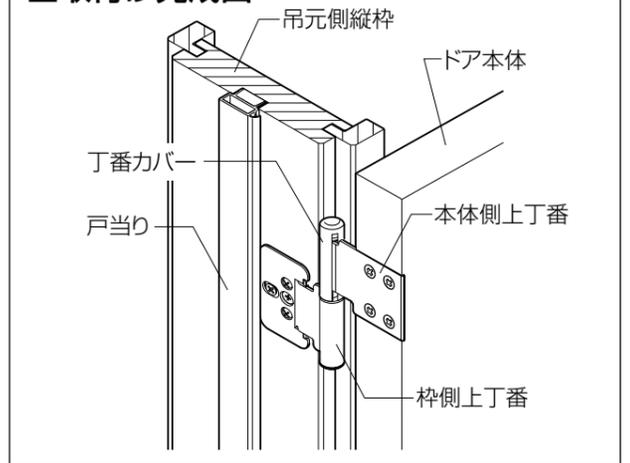
- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



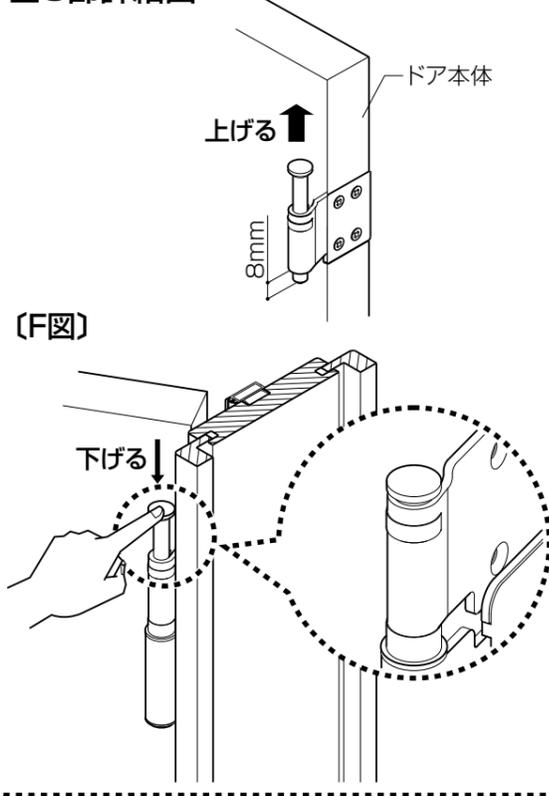
6 ドア本体の取付け

- ① ドア本体に、本体側丁番を皿タッピンねじφ4×20(枠側丁番にテープ止め)で取付けます。(C・C'部)
※ ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
- ② 下丁番カバーを上げます。
- ③ 上丁番カバーを外してください。
- ④ 本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(C部)
※ 軸は8mm程残した位置で止まります。
- ⑤ 本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(E部)
※ 本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑥ 本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。
- ⑦ 本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(F図)
- ⑧ 上丁番カバーを取付けます。
※ 枠側上丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。
- ⑨ 下丁番カバーを下げます。
※ 枠側下丁番のケースカバー溝にはめ込んでください。

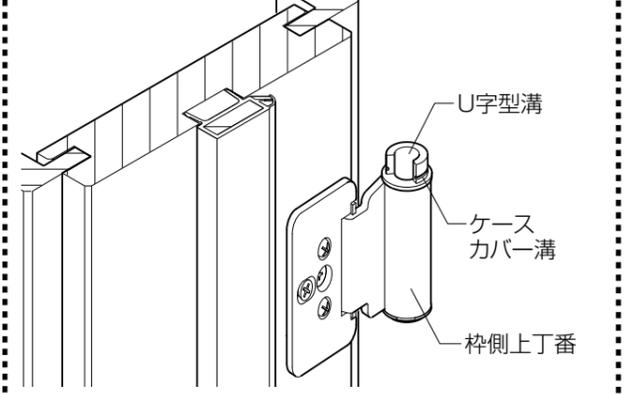
■取付け完成図



■C部詳細図



■D部詳細図



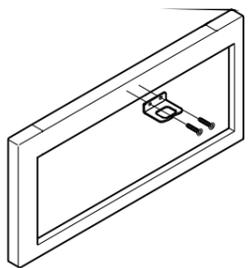
お願い
 ※ 本体を保管する際は、下記の状況にあたる場所には置かないでください。
 ・ 直射日光の当たる場所
 ・ 昼夜などで温度差の激しい場所
 ・ 湿気が多い場所
 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。
 ※ 長期にわたる本体の立て置き保管はせずに、寝かせた状態での保管としてください。
 本体のソリ・ねじれなどの原因になります。

▲注意

- 本体を吊込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず押下げてください。軸が下がっていないと、本体脱落の原因となります。
- 建付け調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因となります。

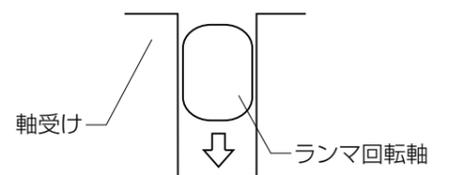
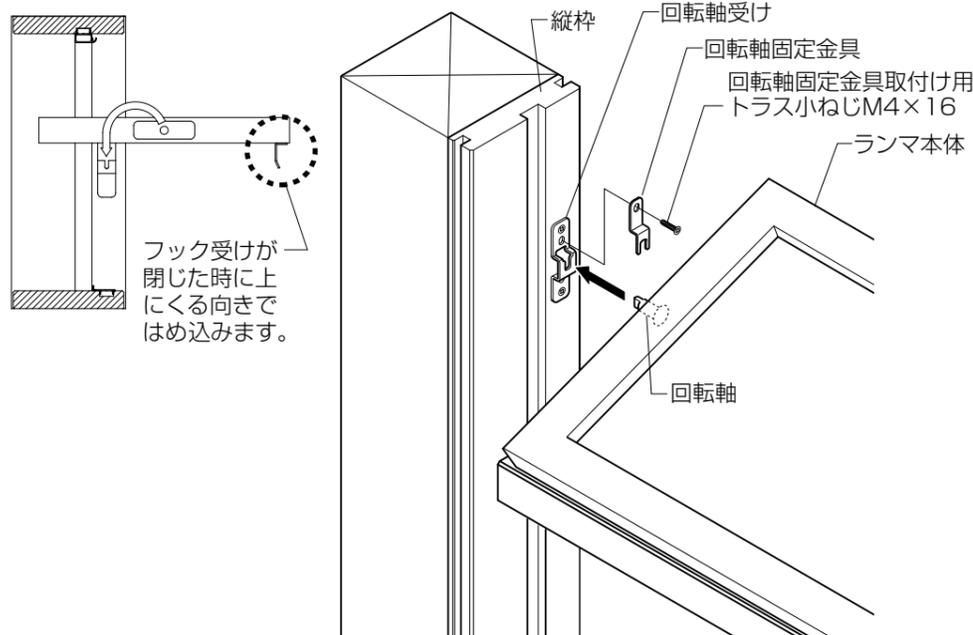
7 フック受けの取付け

- ① フック受けを特平木ねじφ3.8×20で固定します。
- ※ 本体上部に下穴があります。



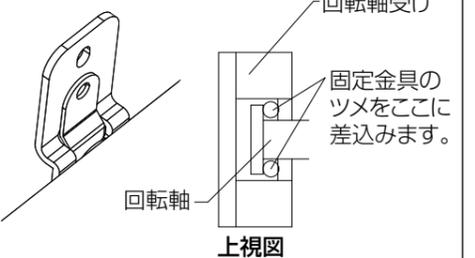
8 ランマ本体の取付け

- ① 回転軸受けに右図のようにランマ本体の回転軸をはめ込みます。
- ② 回転軸固定金具をランマ本体に同梱のねじで固定します。



お願い
 ※ 回転軸に潤滑剤や清掃用の洗剤を塗布しないでください。
 トルクが効かなくなります。

●回転軸固定金具納まり

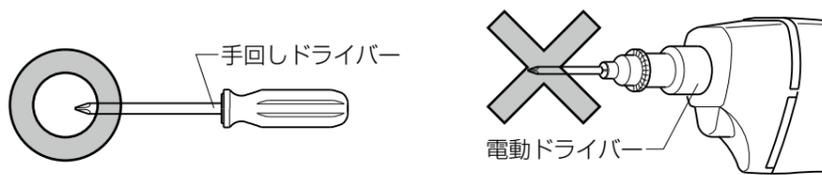


▲注意

- 回転軸固定金具は確実に取付けてください。脱落の原因となります。

■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



上下の調整

●本体側下丁番で調整します。
 ●調整幅は、上(3mm)、下(3mm)です。

不具合例

1. ドアの上部が枠に当たる。

調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

不具合例

2. ドアの下部が枠に当たる。

調整方法

- ①本体側下丁番のキャップを外す。
- ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。
- ③キャップをはめる。

左右の調整

●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
 ●調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に1.5mmです。

不具合例

1. ドアの開き側が枠に当たる。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが締まっていることを確認してください。

不具合例

2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが締まっていることを確認してください。

前後の調整

●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
 ●調整幅は、前(3mm)、後(1mm)です。

不具合例

1. 開き側の枠が前に出ている。

調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが締まっていることを確認してください。

不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。

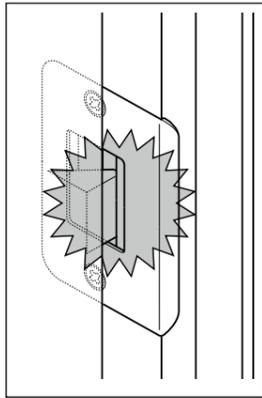
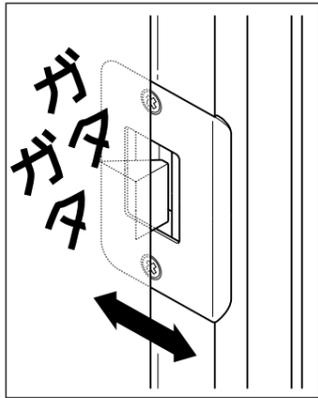
調整方法

- ①固定ねじをゆるめる。
- ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③固定ねじを締める。
- ④固定ねじが締まっていることを確認してください。

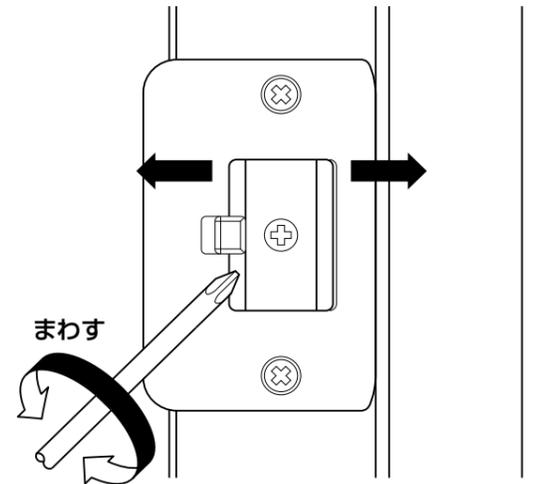
■建付け調整 (ストライクによる調整)

●ラッチがストライクの中でガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーでストライクの調整ねじを回して調整してください。

■ラッチがストライクの中でガタつく ■ラッチがかからない



ストライク調整ねじ
可能調整範囲±3mm



8 みえナイズウドアストッパー床付け部品の取付け

…取付け上・取扱上のお願ひ…

- 取付けは木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材へは取付けできません。
- 取付け前に扉の建て付け調整を必ず行ってください。
- 取付治具を使用して扉と床の隙間の確認を行い、扉と床の隙間が11～15mmとなるように扉高さを調整してください。
扉と床のすき間を11mm以下もしくは15mm以上にするとストッパーが作動せず、扉が壁などに衝突するおそれがあります。
- 床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。
- 本製品のネジ締付時には手動ドライバーもしくはクラッチ付のドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ネジの空回り、ネジ頭部の破損、つぶれの原因となります。
- ロックが掛かった状態で扉本体にもたれかかったり、引っ張ったりしないでください。ストッパーが破損するおそれがあります。
- 磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器等)を本体に近づけないでください。使用できなくなるおそれがあります。
- 受け部品(床付け部品)にワックスをかけないでください。作動不良の原因になります。万一ワックスをかけてしまった場合は、ワックスをきれいに拭き取ってください。
- 受け部品(床付け部品)にホコリ・砂がかかった場合は、掃除機などで取り除いてください。作動不良の原因になります。
- フラップに磁気を帯びさせないでください。作動不良の原因になります。
- 扉側部品にお湯をこぼしたり、暖房機器による熱風等を与えたりしないでください。故障の原因になります。

【部品の詳細】

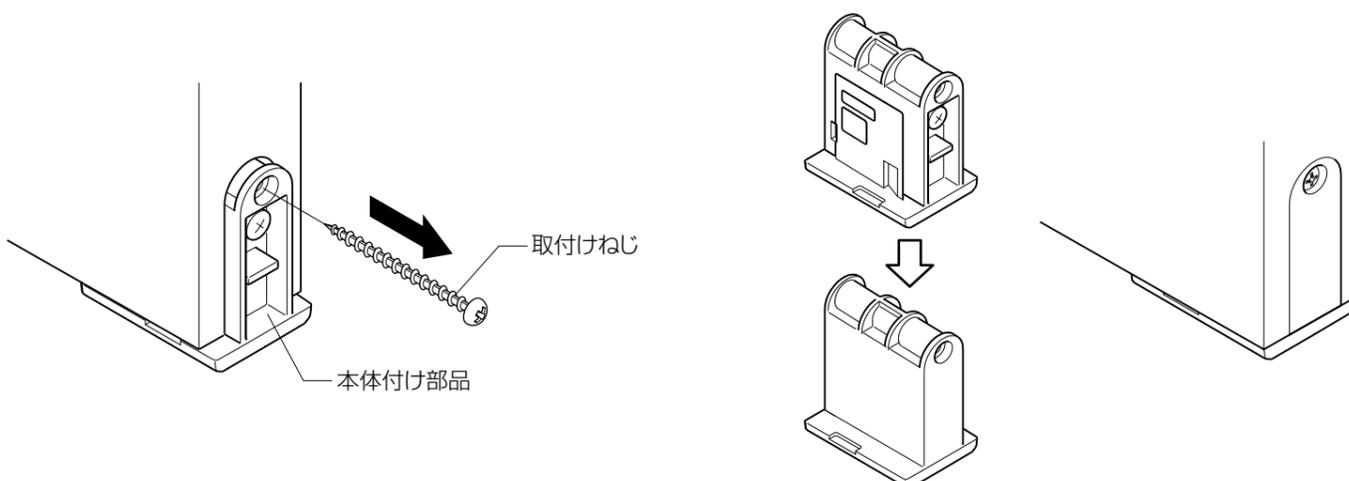


【ドアストッパー機能を使用しない場合】

※下記対応で、ストッパー機能をなくすことが可能です。

①取付けねじをゆるめ、扉本体から本体付け部品を取外してください。

②本体付け部品をひっくり返し(木口面からロックレバーが見えない状態)、再び取付けてください。

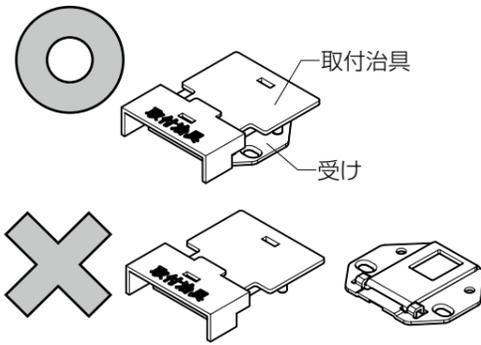


【取付け方法】

①取付け前の準備

- ①扉の建付け調整を完了させてください。
 ※先に受けを取付けた後、建付け調整をすると、ドアストッパーが正常に作動しない場合があります。

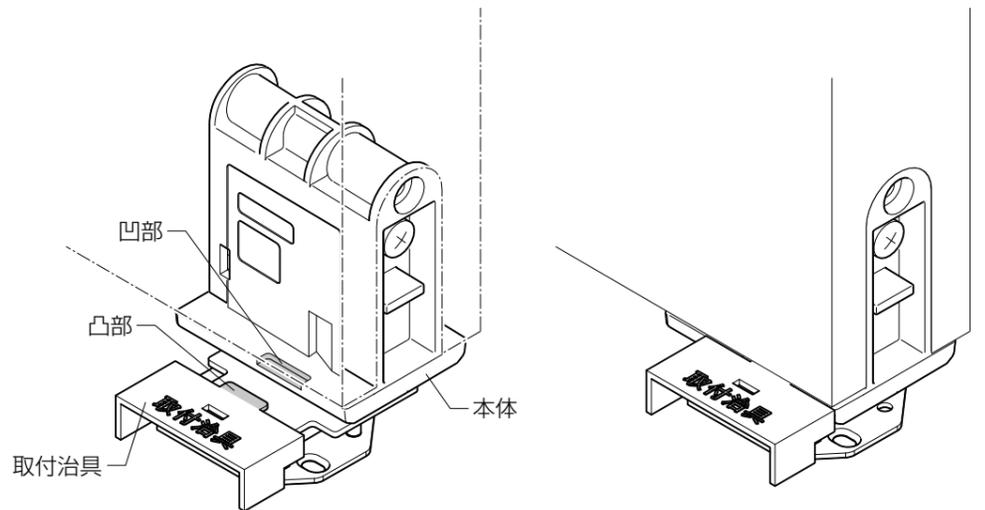
- ②受けが取付治具と一体になっていることを確認してください。外れている場合ははめてください。



お願い
 ※受けの取付けが完了するまで取付治具は外さないでください。

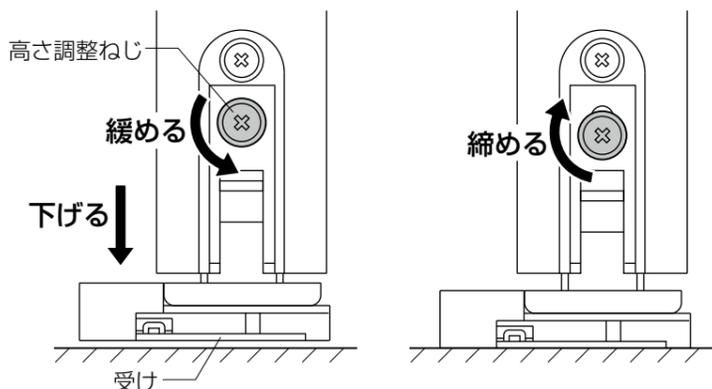
②取付け治具を本体にセットする

- ①取付治具の凸部を本体の凹部に合わせてセットしてください。

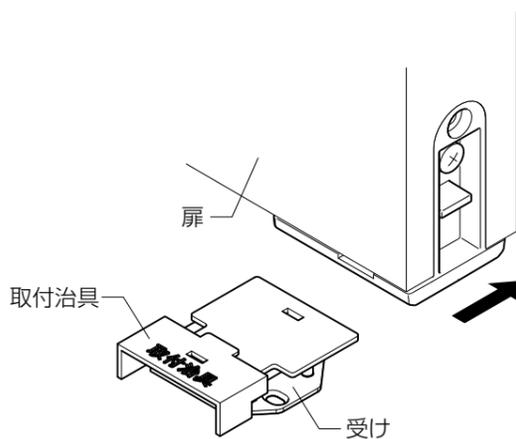


③受けを取付位置にセットする

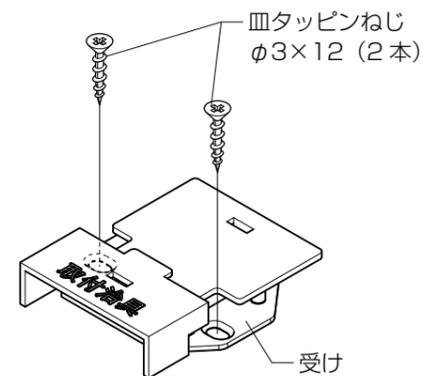
- ①扉を停止させたい位置まで開き、その位置で本体の高さ調整ねじを緩め、受けを床面まで下げてください。受けが床面に接地したら高さ調整を締め、本体を固定してください。



- ②取付治具、受けを動かさないように手で固定し、扉を移動させてください。

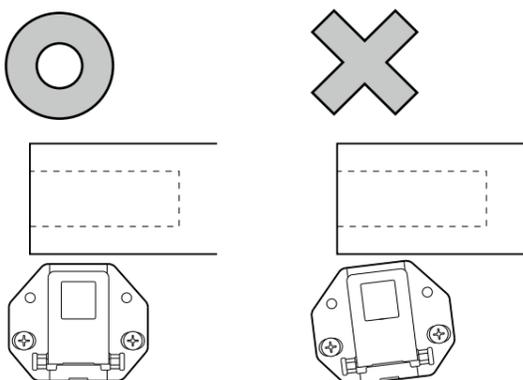


- ③受けの取付け位置に下穴をあけて付属のねじで固定してください。



④取付け状態および作動の確認をする

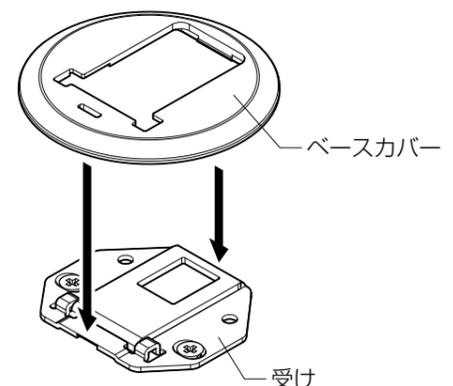
- ①正しく取付けられていることを確認してください。



- ②ロックレバーが上がっている状態で本体が受け部品の真上にくるように扉を開き、正常に作動するか確認してください。
 ③ロックレバーを下げてロックができることを確認してください。

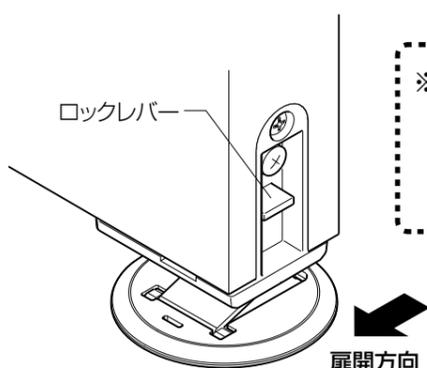
⑤ベースカバーをはめ込む

- ①必ず④の確認後、ベースカバーを取付けてください。
 ②受けにカチッと音がするまでベースカバーをはめ込んでください。



【取扱い方法】

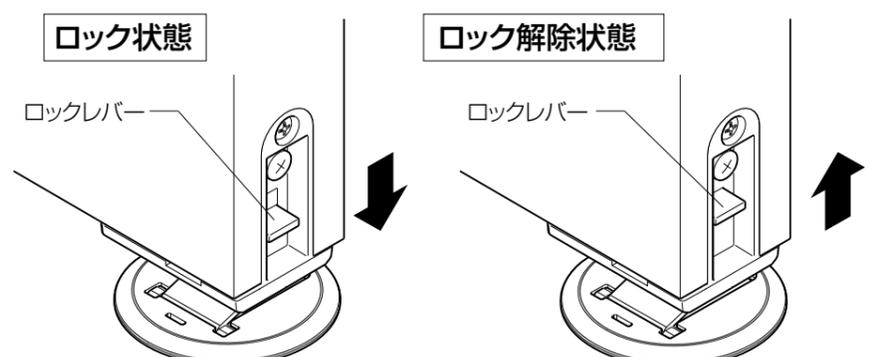
- 扉本体が受け部品に近づくときフラップが立ち上がり、ストッパーが作動します。



お願い
 ※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。部品が破損するおそれがあります。

- ※扉本体の開く速度が速すぎると作動しなかったり、部品が破損するおそれがあります。

- ロックレバーを下げてロック状態にすると扉を開いた状態を維持します。

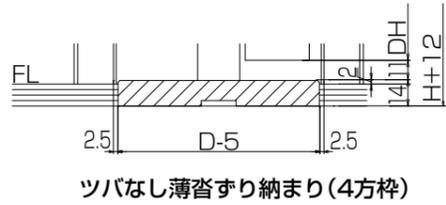
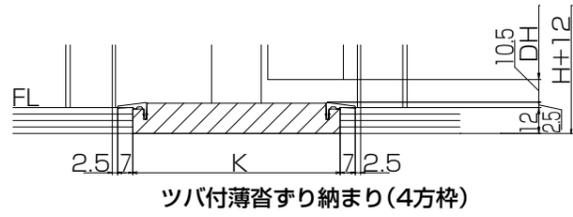
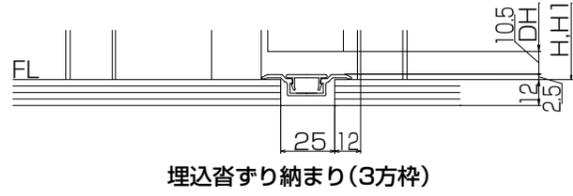
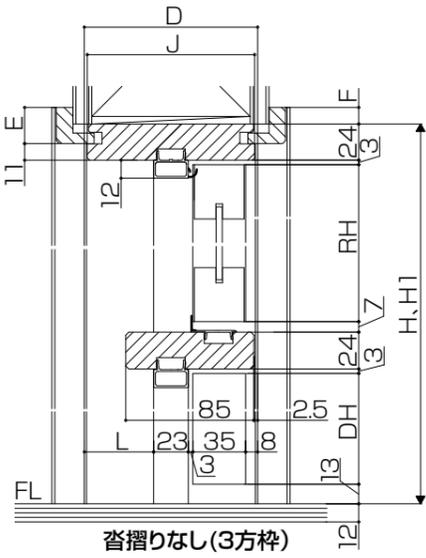


- ※ロックの際はフラップが本体の奥まで完全に入っていることを確認してください。
 ※ロック解除の際は、ロックレバーを完全に上げてください。
 ※ロックレバーを下げたまま扉を開閉しないでください。

■納まり図

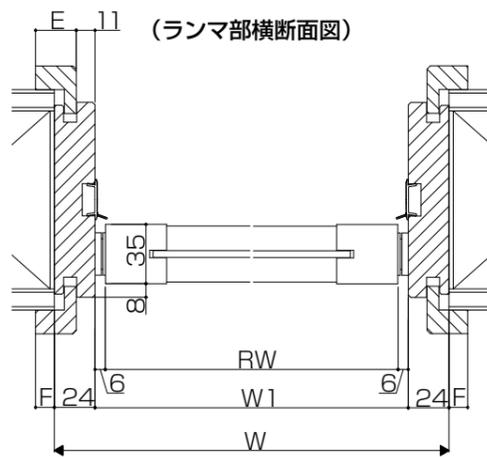
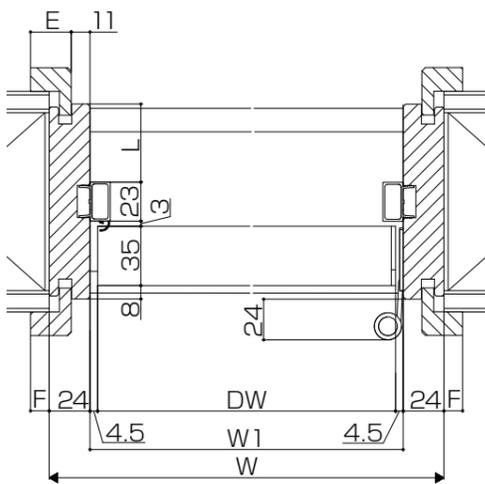
■ランマ付ドアユニット ケーシング付

●縦断面図



※枠の見込み寸法が変わっても、沓すりの位置は縦枠の開き側より共通の位置となります。

●横断面図



W呼称	W	DW	W1
07	780	723	732

H呼称	H	DH	H1
24	2400	1983	2400

	E:見付け	足長さ	F
L型ケーシング	24	8	11
		14	
		19	
		25	
	36	8	23

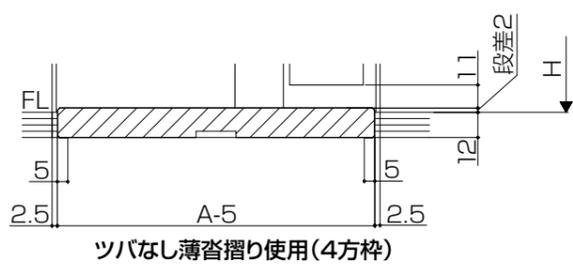
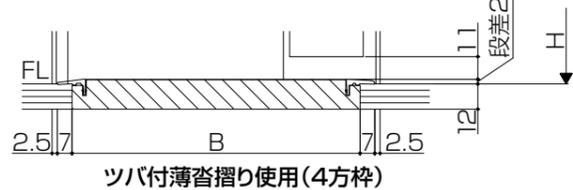
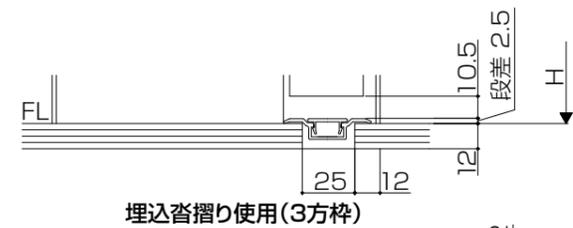
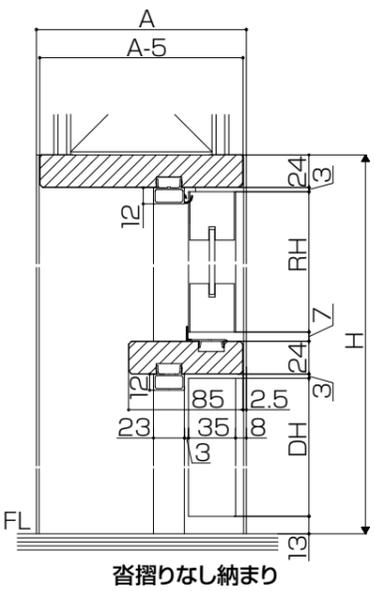
	D	J	K	L
薄壁	115	111	96	46
厚壁	142	138	123	73

W呼称	W	RW
W07	780	720

H呼称	H	RH
H24	2400	343

■ランマ付ドアユニット ノンケーシング付

●縦断面図



●横断面図

